

この案内は2014年産米の検査が終了した2014年11月に作成しました。
今後、追加の情報がある場合は、ホームページなどでお知らせします。

<http://www.kurose.com/>

検査結果（本お知らせ）は、贈答用のお米・お餅にも同封して贈り先様へお届けしております。

放射能検査結果について（2014年）

放射能検査の結果、今年も放射性物質は不検出となりました。

皆さまに新米をお届けできる時期となりましたが、今年も新米の出荷を前に外部機関に委託し放射能検査を行いました。

その結果、**放射性物質は不検出でした。**

安心してお召し上がりいただける2014年産米をお届け致します。

黒瀬農舎でのこれまでの取り組みや、検査状況、今後の対応は以下の通りです。

■昨年までの状況

2011年以降、毎年収穫したお米や米ぬかの自主検査（検出限界1 Bq/kg 検体数22検体）を行っていますが、すべて不検出です。

また、秋田県が毎年行う全県69地点の玄米の検査でも、これまですべての検査で不検出でした。したがって秋田県内でお米の放射能が検出されたことはありません。

■本年度使用した有機質肥料などの資材

田んぼで使用している有機質肥料などの資材は、使用前の今年2月に検査を行い、不検出を確認した上で使用しています。

■今年収穫したお米

あきたこまち（3検体）、もち米（杵搗き切り餅原料）、古代米、米ぬかの計6検体で検査を行いすべて不検出でした。（検出限界1Bq/kg）

また、秋田県による大潟村を含む全県69カ所で収穫された玄米の検査もすべて不検出でした。

■今後の取り組み～来期の有機肥料の検査～

今後使用する有機肥料などの資材は、今年と同様に、原材料の調達先の確認や放射能検査などを実施することで、汚染された資材の圃場への持ち込みを防ぎます。

■情報の公開

黒瀬農舎では、これまで栽培方法などをできる限り公開し、お客様自身で情報を判断し、納得した上で購入頂けるように取り組んできました。

放射能問題でも同様に、できる限りの情報収集と開示を行います。今後の追加情報については、ホームページや、お米に同封する通信などでお知らせ致します。

同位体研究所 ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE		放射能(核種)検査報告書		59891	
依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿		結果報告日: 2014年9月30日			
検体名: 2014年産 玄米(RS100)		報告書番号: RIN14QH017CP1			
検体特記事項: 検体名は依頼者記載		株式会社 同位体研究所 代表取締役 塚 肇 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター内 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555			
検体量: >2kg		検査及び 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定（定量下限 0.5 Bq/kgでの核種測定）			
分析結果: Ge定量0.5					
核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値	検出下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.45	0.30
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.49	0.33
Caesium-137		ND	Bq/kg	0.50	0.33
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg		

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値:測定毎にバックグラウンド等を含まれた測定時定量下限値

放射能検査報告書（抜粋）



ライスロッヂ大潟 提携米・黒瀬農舎 黒瀬 友基

〒010-0445 秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4-7

TEL:0185-45-3088 FAX:0185-45-2887 mail:akita@kurose.com

<http://www.kurose.com/>

提携米 黒瀬農舎

検索

2014年産米のその他の検査報告書は裏面に載せています。

放射能(核種)検査報告書

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: ライスロップ大園・鳥籠農舎 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE09CR1

試料名: 2014年度あきたこまち玄米(SK)

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.7 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
(施肥中のカリウムには、天然の放射性カリウムが含まれる。農薬測定器では放射線として検出される。放射性セシウムとの誤認防止の点で放射性カリウム値を参考記載)

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: ライスロップ大園・鳥籠農舎 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE010CR1

試料名: 2014年度あきたこまち玄米(VS)

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
(施肥中のカリウムには、天然の放射性カリウムが含まれる。農薬測定器では放射線として検出される。放射性セシウムとの誤認防止の点で放射性カリウム値を参考記載)

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: ライスロップ大園・鳥籠農舎 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE08CR1

試料名: 2014年度 きぬかの玄米

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
(施肥中のカリウムには、天然の放射性カリウムが含まれる。農薬測定器では放射線として検出される。放射性セシウムとの誤認防止の点で放射性カリウム値を参考記載)

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: ライスロップ大園・鳥籠農舎 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE011CR1

試料名: 2014年度 米ぬか

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
結果注釈: 放射性ヨウ素(131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし。

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: 阿部 洋 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE012CR1

試料名: 2014年度 朝栗(あきむらさき)玄米

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
(施肥中のカリウムには、天然の放射性カリウムが含まれる。農薬測定器では放射線として検出される。放射性セシウムとの誤認防止の点で放射性カリウム値を参考記載)

同位体研究所
放射能(核種)検査報告書 5989

依頼者名: ライスロップ大園・鳥籠農舎 限 結果報告日: 2014年11月6日

報告書番号: RIN14EE011CR1

試料名: 2014年度 米ぬか

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塚原 博
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産業共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-602-4651

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量: >2kg

検査及び判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメータによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg 以下の核種測定)

分析結果: Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Cesium-137	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
(検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置: CANBERRA GC2020
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U型容器にて実施。
結果注釈: 放射性ヨウ素(131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし。

2014年9月~10月に行った玄米・米ぬかの検査結果報告書(残り1部は1ページ目に掲載)

ヨウ素131、セシウム134・137の測定値はすべての検査結果で ND(Not Detected=不検出)でした。
(検出限界 各1Bq/kg以下)